

【柏市選出】

千葉県議会議員



なか た まなぶ  
**中田学**

国民民主  
KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主プレス 号外  
編集部 〒100-0014  
東京都千代田区永田町 1-11-1  
Mail press@dpi.or.jp  
Tel 03-3595-9988

千葉県 第8  
総支部 柏市版  
2018年  
12月号

発信力

実行力

柏警察署をもう一署、早急に整備するべき！

柏市の刑法犯認知件数は増加の一途をたどっています。また特殊詐欺の被害も、その手段が増え、大きな社会問題となっています。

以前柏市では、世間を震撼させた連続通り魔事件、また川への突き落とし溺死事件などが起こりました。もともと柏警察署管内は刑法犯認知件数が千葉県内でも大変多く、また、柏警察署の警察官が、市民1人当たりには負担しなければならない負担率も、県下で最も負担が高いとされています。さらに刑法犯認知件数や、交通事故件数などもワーストが多い状況で、今後中核市となった柏市への警鐘がなっていると考えます。

新たに特殊詐欺や盗難事件など、悪質な犯罪も多発している状況です。柏市はこのような犯罪が後を絶たないため、今後も治安力強化は喫緊の課題です。また私は、これまで後援会の皆様とともに、継続して活動を続けてきた、「柏市にもう1カ所警察署をつくろう」をキャッチフレーズとした署名活動等も行ってきました。

総務省と警察庁が、都道府県警の警察官を増員するよう働きかけてはくれていますが、治安力の強化が急務である柏警察署に対して、私は是非、柏市内にもう1つの警察署を新設することが必要不可欠だと考えます。

## ○柏警察署について

①署員数(平成30年4月1日現在)  
警察官 355人(県下1位)  
一般職員 13人(県下5位)  
合計 368人(県下2位)

②刑法犯認知件数(平成30年10月現在)  
2,649件(前年比 - 456件)県下ワースト1  
※県総数 38,968件(前年比 - 5,292件)

③交通事故件数(平成30年10月現在)  
932件(県下ワースト1)

### 中田学 Profile

【1973年3月15日生】45歳  
北海道室蘭市生まれ  
千葉県議会議員 現在2期  
柏市立光ヶ丘小,中学校卒業  
流通経済大学附属柏高卒業  
流通経済大学経済学部卒業  
動物苑 代表取締役就任  
早稲田大学 人間科学部卒業  
松崎公昭元衆院議員 秘書  
農林水産常任委員会委員

南関東代表 青年委員長  
千葉県社労士議連副会長  
障害者相談調整委員会  
日中友好議員連盟 委員  
柏さかさい保育園 監事  
柏しんとみ保育園 監事  
柏中央保育園 監事  
柏 ECEC 保育園 監事  
グループホーム陽だまり 理事  
みどりを愛し守る会 理事  
手賀沼水保全協会 顧問  
柏稲門会 会員

柏市太極拳連盟 会長  
柏市レスリング協会 会長  
柏友舞踊協会後援会 会長  
柏市グラウンドゴルフ協会顧問  
流経大柏 流輝会 副会長  
柏市中央倫理法人会 幹事  
柏ユネスコ協会 賛助会員  
東葛山形県人会 賛助会員  
柏・北海道人会 会員  
塚崎二丁目自治会 元相談役  
大津ヶ丘第二小 元PTA 会長  
柏青年会議所 元副理事長



↑続けたこと。

札幌の祖母に  
12年半の間、  
毎日ハガキを  
書き続けたこと。

## 柏警察署をもう一署、早急に整備するべき！

### 第37話「千葉県の人口減少・少子高齢化」



### ○柏警察署について

#### ③交通事故件数

(平成30年10月現在)

932件 (県下ワースト1)

#### ④交通死亡事故件数(平成30年10月現在)

932件 (県下ワースト1)

#### ⑤警察官一人当たりの負担率

・人口 1175.26 (県下3位)

・刑法犯 10.28 (県下1位)

・交通事故 3.58 (県下第3位)

・110番受理件数 87.189 (県下2位)

※人口は平成30年3月31日現在

※刑法犯認知件数、交通事故件数及び110番受理件数は平成29年中の件数



### 県の立場で考える、柏市の人口問題

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年、柏市の人口は3.6人に1人が65歳以上、5.9人に1人が75歳以上とされています。また高齢者と生産年齢人口の比率は、約1対2になっていくとされています。

つまり、2人から3人の若い方が1人の65歳以上の高齢者を支えていく社会になるということになります。

とくに出産や子育て中心となる若い女性も減少傾向にあり、今後さらに充実した子育て施策や少子化対策に取り組む必要があります。

今後はまず住民生活に与える影響として、年少人口の減少によって、小中学校施設の見直しが必要です。

また地域経済に与える影響として、生産年齢人口の減少が予想される中、地域経済の活力を維持するため、女性や高齢者の雇用を進めることも重要です。

さらに行財政に与える影響として、担税力の高い生産年齢人口の減少に伴う市税収入の減少と、後期高齢者の増加による民生費の増大により、市財政の逼迫をクリアしなければなりません。

いずれにしても課題の多い人口問題。国と県と市が一丸となって取り組んでいく必要があります。

千葉県議会議員 中田学事務所

〒277-0922 千葉県柏市大島田290-2F

TEL 04-7128-8172 FAX 04-7128-8171

mail : nakatajimuso@gmail.com URL : http://nakatamanabu.com



中田学

検索